



ほけんだより

7・8年生の
希望者

5/14(水)貧血検査のお知らせ



日時：5月14日(水)13:15~

場所：後期課程保健室

順番：7年生→8年生 ※9年生は「9年生住民健診」で行います。

注意：白川診療所の看護師さんが採血をしてくださいます。

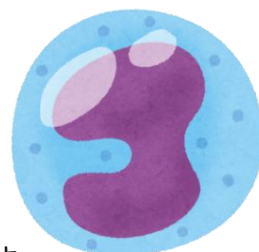
気持ちのよい挨拶をし、名前を伝えましょう。

騒がず、静かに受けましょう。

貧血検査で何がわかるのか

貧血検査では、以下の5つの値を調べます。

- ① **白血球数**…白血球は、体の中に入った細菌やウイルスをこわしたり、免疫抗体を作って殺したりする役割があります。
血液検査の結果、白血球の数が多いと体内で何らかの炎症や異常がおこっている可能性があるとわかります。
- ② **赤血球数**…赤血球は、全身に酸素を運ぶ役割があります。
血液検査の結果、赤血球の数が少ないと貧血を疑います。
- ③ **ヘモグロビン量**…赤血球の大部分が「ヘモグロビン」というタンパク質でできています。貧血の場合は、ヘモグロビンも少なくなります。
- ④ **ヘマトクリット値**…一定量の血液中に、赤血球がどのくらい含まれているかわかります。
- ⑤ **MCV・MCHC(赤血球恒数)**…赤血球1つの平均的な大きさ、赤血球に含まれるヘモグロビンの量や濃度がわかります。これによって、貧血の種類や程度がだいたいわかります。



なぜ、後期課程で貧血検査を行うのか!?

7・8・9年生は「思春期」という時期で、**心も体も大きく成長する時期**です。
全身に酸素や栄養を運ぶためには、血液も増やさなければいけません。
血液を増やすためには、血液の原料でもあるタンパク質や鉄分も**これまでより多く必要**となります。しかし、**タンパク質や鉄分が足りないと貧血になりやすくなる**ため、この時期に検査をして、貧血かどうか早期に見つけることが大切です。

「貧血」であった場合は、鉄分が多く含まれている食事をとったり、医師と相談して鉄分を補う錠剤を飲んだりする対策をとる必要がでてきます。



全身を
まわる血液